

## 本事業の成果と課題と展望

### 1. 成果

本事業を通して、以下のような成果が得られました。

#### (1) 保護者支援の充実

今回のペアレント・プログラム導入により、親が自分を認めることができるようになったこと、回を重ねる毎に親同士のつながりができ、子育てについて話し合う仲間ができたことは大きな成果であったと考えます。また、「きらきらリレーファイルの作成」により、関係者の「つながり」が視覚化できるようになったことは、保護者の安心につながることを期待しています。

#### (2) 支援者のスキルアップ

ペアレント・プログラム指導者研修受講後、保育士から「もやもやした気持ちを話せる機会を保護者と持てるようになった」という声が聞かれ、日常的に支援ができるようになったという成果が表れています。また、ヴァインランド-II適応行動尺度の講習により、「相談支援や日常の支援に大変有用であり、今後使用していきたい」との声が多く聞かれました。

#### (3) 地域での波及効果

ペアレント・プログラムの実施後、「研修会に参加した保健師・保育士が協働して、療育施設スタッフと保護者を対象として地域で開始した」「来年度保育所の親子教室の中でペアレント・プログラムを実施していく」という報告が数か所からありました。離島である喜界島の療育施設からも要望があり、これについては連携団体と講師派遣について検討を始めました。また、奄美市との連携により「子ども子育て会議」の中でも検討され、平成27年度から開始される「子ども・子育て支援事業計画」にもペアレント・プログラムの実施が位置づけられました。今後事業の展開方法について市福祉課と保健師と共に検討していく予定となっています。

講演会の実施により、参加者から「もっと多くの保育士へ向けての研修に取り入れていただきたい」「定期的に研修をしてもらいたい」という声が多くきかれました。地元新聞（2社）に取りあげられたこともあり、来年度の講演会についての問い合わせや要望等も寄せられています。

### 2. 課題と今後の展望

この事業を通じて、保護者だけでなく支援者から、「自分を振り返るよい機会となりました」という声を多数いただき、自分の支援を客観的に評価する機会がないこと、講演会等で得た知識を実践に活かしていくためのスキルが不足していることが明らかになりました。このニーズについては、ペアレントプログラム導入で得た成果を踏まえ、今回受講した保健師と保育士をグループ化し、地域での展開と新たな指導者の育成を行っていききたいと計画しています。

また、今回離島の保育士に参加していただいたことで、離島での取り組みが不足している実情をうかがうことができました。今後講師派遣だけでなく、地域での支援体制整備への助言等も行うことを検討しています。

助成期間終了後は、助成事業を通じて得られた「顔の見えるネットワーク」という成果を活かし、支援者のスキルアップ向上をさらに充実させ、託児所など講演会等に参加が難しい機関においても支援の環が広がっていくことを目指していききたいと考えております。